

平成 27 年 5 月 1 日

各位

公益社団法人 日本冷凍空調学会

「SI による上級冷凍受験テキスト 第 7 次改訂版」に誤りがありました。
お詫びとともに訂正致します。

〈正誤表〉

P65 (5.12) 式

誤	正
$\frac{q_{vro}}{q_{vrk}} = \frac{q_{mro}}{q_{mrk}} \times \frac{v_1}{v_3} \times \frac{\eta_{vH}}{\eta_{vL}}$ $= \frac{h_3 - h_1}{h_2' - h_7} \times \frac{v_1}{v_3} \times \frac{\eta_{vH}}{\eta_{vL}} = a$	$\frac{q_{vro}}{q_{vrk}} = \frac{q_{mro}}{q_{mrk}} \times \frac{v_1}{v_3} \times \frac{\eta_{vH}}{\eta_{vL}}$ $= \frac{h_3 - h_6}{h_2' - h_7} \times \frac{v_1}{v_3} \times \frac{\eta_{vH}}{\eta_{vL}} = a$

S Iによる上級受験テキスト 第7版正誤一覧

ページ	行	誤	正
16	右上から10行目	ws	wr
25	式2.22 最終行	$q_{mr}(h_3 - h_1)$	$q_{mr}(h_1 - h_3)$
49	図3.15	グラフの下端が -60℃まで、下がっている	-55℃まで
66	左下から4行目	$h_2' = h_1 \frac{h_2 - h_1}{\eta_c \eta_m}$	$h_2' = h_1 + \frac{h_2 - h_1}{\eta_c \eta_m}$
66	左下から2行目	$h_4' = h_3 \frac{h_4 - h_3}{\eta_c \eta_m}$	$h_4' = h_3 + \frac{h_4 - h_3}{\eta_c \eta_m}$
70	(7)(c)3行目 右下から4行目	蒸気器入口	蒸発器入口
74	式6.3 その2行上	dt/dx	dt/dr
148	10.7の3行目 式10.6 式10.7	D_0 (ゼロ) 3箇所	D_0 (オー)
165	右上1行目	らさに	さらに
168	表11.2	比体積の単位が m^3/kg 2箇所	リットル/kg
186	図13.6	W_h	W_r
199	右上から3行目	銅管(表15.2), 銅合金管	削除
202	右上から3行目	液管中	液管
43	左下から6行目	給湯器	給湯機
133	右5行目	内臓	内蔵
198	左下から1行目	最少限	最小限

なお、上記に関しては、第7次改訂第2刷(平成24年4月13日)以降については一部反映されているものがあります。

ページ	行	誤	正
225	付表2 R407C	R32/R125/R134a (32/25/52mass%)	R32/R125/R134a (23/25/52mass%)
15	9箇所	q_m	q_{mr}
230,231, 232,233, 234,235, 236,239, 240	付表内 比体積欄	比体積の v_B の単位 m^3/g	m^3/kg
230,231, 235,236, 241,242	付表内の比体積欄	比体積の v_B の数値	3桁小さくする。 例えば0.7267は 0.0007267にする
10	左上から3~6行目	=1.6168 $T_k=1.6168 \times (273.15-20+5)$ =417.38K =144.23°C	=1.6167 $T_k=1.6167 \times (273.15-20+5)$ =417.35K =144.2°C
10	左上から13行目	0.7061 =1.2728 $T_k=1.2728 \times (273.15-20+5)$ =328.57K =55.42°C	0.77061 =1.2905 $T_k=1.2905 \times (273.15-20+5)$ =333.14K =59.99°C
10	左下から4行目	=1.4035	=1.4034
11	右上から15行目	=0.017828	=0.017827
11	右上から20行目	$\times 0.017828$	$\times 0.017827$
27	右上から2行目	=0.48043	=0.48789
115	右下から2行目	欠落(右記下線部)	そのばね圧力 P_s (MPa)を $P_s = \Delta t / a$ とすればよいことを
152	左下から4行目 (2箇所)	479 =61.03	497 =61.02

なお、上記に関しては、第7次改訂第6刷(平成26年5月15日)以降については一部反映されているものがあります。

ページ	行	誤	正
184	右下から一行目	増大とともにが減少するが	増加とともに減少するが
巻末付図 8 (二酸化炭素 p-h 線図)	縦軸単位	p[PMa]	p[MPa]
108	右上から 1 行目	の逆の膨張弁が	この逆に膨張弁が
180	右上から 3 行目	冷凍機油の粘度低下による潤滑不良を	冷凍機油の粘度低下による潤滑不良を
224	付表 1 R407C	R32/R125/R134a (32/23/52mass%)	R32/R125/R134a (23/25/52mass%)
14	3 箇所	q_m	q_{mr}
巻末付図 8 (イソブタン p-h 線図)	縦軸単位	p[PMa]	p[MPa]